

日本神経生理検査研究会 平成 22 年度総会 議案書

平成 22 年 5 月 21 日 18:00

於：神戸市勤労会館

会長挨拶

脳波検査・神経伝導検査など電気生理学的検査を組み合わせる神経生理検査は、日常の臨床に不可欠であります。専門的な手技の習得には、それなりの知識や経験が必要であり、得られた波形などの結果および解釈も難解な部分が多々ある分野です。当会ではメーリングリストや研修会を通して、検査手技の基礎的な修得や問題症例などを検討し、参加者の自由闊達な意見交換に加えて、広く情報交換および交友など目的としています。そして、ご参加いただいた皆様の神経生理検査への理解が深まるとともに、技術向上にもお役立ていただければ幸いです。また、これまでの会活動が保険点数の改正にも一役買ったことは、ひとえに皆様の日頃の努力が評価されたおかげであり、とても喜ばしいことであります。

昨年も全国および地区研修会等の企画、そしてご多数のご参加いただき、さらに活発に議論していただいたことを心から感謝申し上げます。

2010 年は、近畿支部に当番幹事をお願いし、第 15 回「日本神経生理検査研究会講演会・総会」を開催致します。講演会を含め、当会のさらなる発展のために総会への積極的なご参加をお願い申し上げます。

(高橋 修)

【註】 委任状について

締め切り期日：メール添付は、5 月 20 日 24:00、FAX はも同様、出席会員へ手渡し OK。

宛先(1)メールにて、委任状を添付で送られる会員は、

事務局瀬川 <k1segawa@tenriyorozu-hp.or.jp>、

もしくは <nerve-kouken2009@googlegroups.com>

またメーリングリスト登録されてます会員は委任の文言を <nerve@umin.ac.jp>宛でも OK です(添付不可)

宛先(2) FAX にて 0743-62-0525 天理よろづ相談所医学研究所 瀬川義朗まで。

なお、委任状は、本議案書の最終ページに掲載しております。切り取りもしくはコピーペーストにて、必要事項を記入の上送付して下さい。

平成 22 年度総会式次第

- 1.開会の辞 (水野)
- 2.会長挨拶 (高橋)
- 3.議長選出 (水野)
- 4.書記任命 (石郷)
- 5.平成 21 年度事業報告 (高橋)
- 6.平成 21 年度会計報告・監査報告 (河島・石郷)
- 7.平成 21年度事業報告・会計報告の採択
- 8.平成 22 年度事業計画案・予算案 (高橋)
- 9.平成 22 年度事業計画案・予算案の採択
- 10.一般議題
 - 1)全国講習会の開催について
 - 2)その他
- 11.平成 22 年度役員信任 (水野)
- 12.書記解任
- 13.議長解任
- 14.新役員紹介
- 15.閉会のことば (水野)

1号議案

平成21年度事業報告及び収支決算（H21.1.1～H22.3.31）

【I.事業報告】

〔学術活動〕

1. H21年度 14th 日本神経生理検査研究会学術講演会

日時：平成21年7月30日18:00 場所：横浜市開港記念会館

講演1：「聴覚伝導路における生理機能検査」講師：高嶋浩一技師

講演2：「日常診療から－電気診断の基本と考え方－」

講師：小森哲夫先生（埼玉医科大学神経内科准教授）

2. 地区主催

1) 北海道地区

①第44回神経生理検査勉強会〔テーマ：顔面神経麻痺〕

平成21年6月20日（土）場所 北海道エアウォーター株式会社講堂

講演1、「顔面神経の神経伝導検査」講師：遊佐純教 技師

講演2、「顔面神経麻痺の診断・治療・リハビリテーション」

講師 古田康先生（手稲溪仁会病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長）

②第45回北海道神経生理検査勉強会（第13回宿泊研修セミナー）

平成21年9月26、27日 場所 北見地区温根湯温泉「温根湯ホテル」

テーマ 「神経伝導検査と大脳誘発電位」

講師 山内孝治技師（医療法人大真会 大隈病院） 他

ナイトセミナー、施設紹介など

2) 東北地区

特になし

3) 関東甲信地区

①第13回 日本神経生理検査研究会 関東甲信地区勉強会

平成21年3月28日（土）：東京都立墨東病院新館

テーマ「知っておきたい神経生理検査 -脳波と神経伝導検査-」

・臨床神経生理学会認定試験について 高橋 修

講義1. 検査技師による脳波所見の書き方 講師：谷中 弘一 技師

講義2. 「診断へのアプローチ（絞扼性神経障害）」

ハンズオン 「絞扼性神経障害検査のテクニック」

講師：正門 由久先生（東海大学医学部専門診療学系リハビリテーション科学教授）

②第14回 日本神経生理検査研究会 関東甲信地区勉強会

平成21年10月31日（土），会 場：国立国際医療センター戸山病院

テーマ「基礎から見直す神経生理検査」

講義1. 「再入門・神経伝導検査」 新企画・ 神経伝導検査 Q&A 講師：高橋 修 技師

講義2. 「苦手克服！小児脳波」 新企画・ 小児脳波 Q&A 講師：石井 みゆき 技師

③第15回 日本神経生理検査研究会 関東甲信地区勉強会

平成22年3月20日 東京都立墨東病院新館

テーマ「極める！神経生理検査」

講義1. 「究極のテクニック！ てんかんの発作時脳波 小児を中心に」講師：水野 久美子 技師

講義2. 「スペシャリストの術中検査 術中視覚路モニタリング」 講師：瀬川 義朗 技師

4) 中部地区

①第12回日本神経生理検査研究会中部地区勉強会

H21年3月14日 場所：名古屋市立大学病院

「神経生理認定技師資格に役立つ勉強会」

講演1 認定試験に出そうなMEの基礎知識 講師：山内 章弘 技師

講演2 脳波検査の基本的な考え方（問題形式） 講師：奥田 佳那子 技師

講演3 神経伝導検査のハンズオン 講師：坂下 文康 技師、向井 理香 技師

②第 13 回日本神経生理検査研究会中部地区勉強会

H21 年 9 月 26 日 名古屋市立大学病院

テーマ「基本に戻って検査法を考えてみよう」

講義 1 「神経生理検査を行う環境と心構え」, 講師: 宇城 研悟 技師

講義 2 「神経伝導検査における測定時の注意点」, 講師: 坂下 文康 技師

講義 3 「目的にあった脳波検査～賦活法、アーチファクト、発作時の対応」講師: 石郷 景子 技師

③第 14 回日本神経生理検査研究会中部地区勉強会

H22 年 3 月 13 日 名古屋市立大学病院

テーマ「症例をもとにした検査法をマスターしよう」

講義 1 「リハビリテーション領域での体性感覚誘発電位」, 講師: 高橋 修 技師

講義 2 「これだけは知っておきたい神経伝導検査」, 講師: 樋口 恵一 技師

講義 3 「意識障害における脳波検査の有用性」, 講師: 水野 久美子 技師

5)近畿地区

特になし

6)中国四国地区

特になし

7)九州地区

①第 21 回臨床神経生理研究会

平成 21 年 8 月 22 日(土)～8 月 23 日(日) 福岡

ハンズオンセミナー 講師として参加

②第 7 回 日本神経生理検査研究会九州地区講演会

平成 21 年 10 月 17 日(土) 熊本, 熊本脳波懇話会と共催

講演 『明日から役立つ脳波検査のコツ～小児を中心に～』, 講師: 宇城 研悟 技師

8)全国講習会開催についてのアンケート調査事業報告 (執行部)

平成21年度総会にて、日臨技全国学会とは別日程で全国講習会を開催する案件を提案した。その結果、会員からの意向を調査したのちに再度考案していく方向となった。

平成 21 年 3 月, 全国の会員を対象に以下の 8 項目についてアンケート調査を実施した。広報は、メーリングリスト, ホームページ, 中部や関東支部勉強会などで行い回収した。回収率 15% (63/422)であった。

[アンケート主旨]アンケート調査前文より:『当会では日臨技学術大会に合わせて、学術講習会と総会を過去14回行って参りました。その理由は全国の会員が最も参加しやすい期間と考えたためです。しかし学術大会前日の慌ただしい時間帯の中で、これら 2 企画を実施するのはどちらも無理がありました。講演会で著名な講師をお呼びしても会員に十分なサービスがなされていないような気が致します。・・・(中略)・・・すでにご存じのように今年度から日臨技学術大会の開催地が6会場に限定されることとなりました。これまでそれぞれの地区地方で郷土色溢れる楽しい会合でしたが、当会も考え方を考える時期に来ているのではないかと考えます。できるだけ多くの会員が参加され、より満足のいく講習会を企画できるよう、日臨技学術大会とは別の日程で全国レベルの講習会の開催を提案したいと思います』

[集計結果]

1. 開催月: 10 月、6 月、3 月の順に多数。以上の中から他の学会と重ならない

開催月を決定する。

2. 開催曜日: 土曜日希望が過半数。他も休日希望。平日は避ける。

3. 期間: 現状の 2 時間では短いと感じている会員が多い。半日から 1 日が必要。

4. 開催地: 交通の便がいいこともあり関東、中部、近畿が多数。回答した会員数の影響が大きいと考える。会員数の多い地区に合わせるべきか?

5. 講演内容: EEG, NCS, 誘発電位が多数。均等な開催が求められる。半日の枠がとれるのであれば、初級・中級いずれも開催すべきか。生理学や ME など基礎項目の要求も有り。

可能であれば開催。

6. ハンズオン: 4 項目がほぼ同数。ビデオも多数。著名な講師の講演が求められている可能性あり。

7. 開催の是非: これまでの日臨技学会時期とは別運営が大多数。

8. 日臨技研修会: 参加未経験者が過半数。当会の役割と責任が重要。

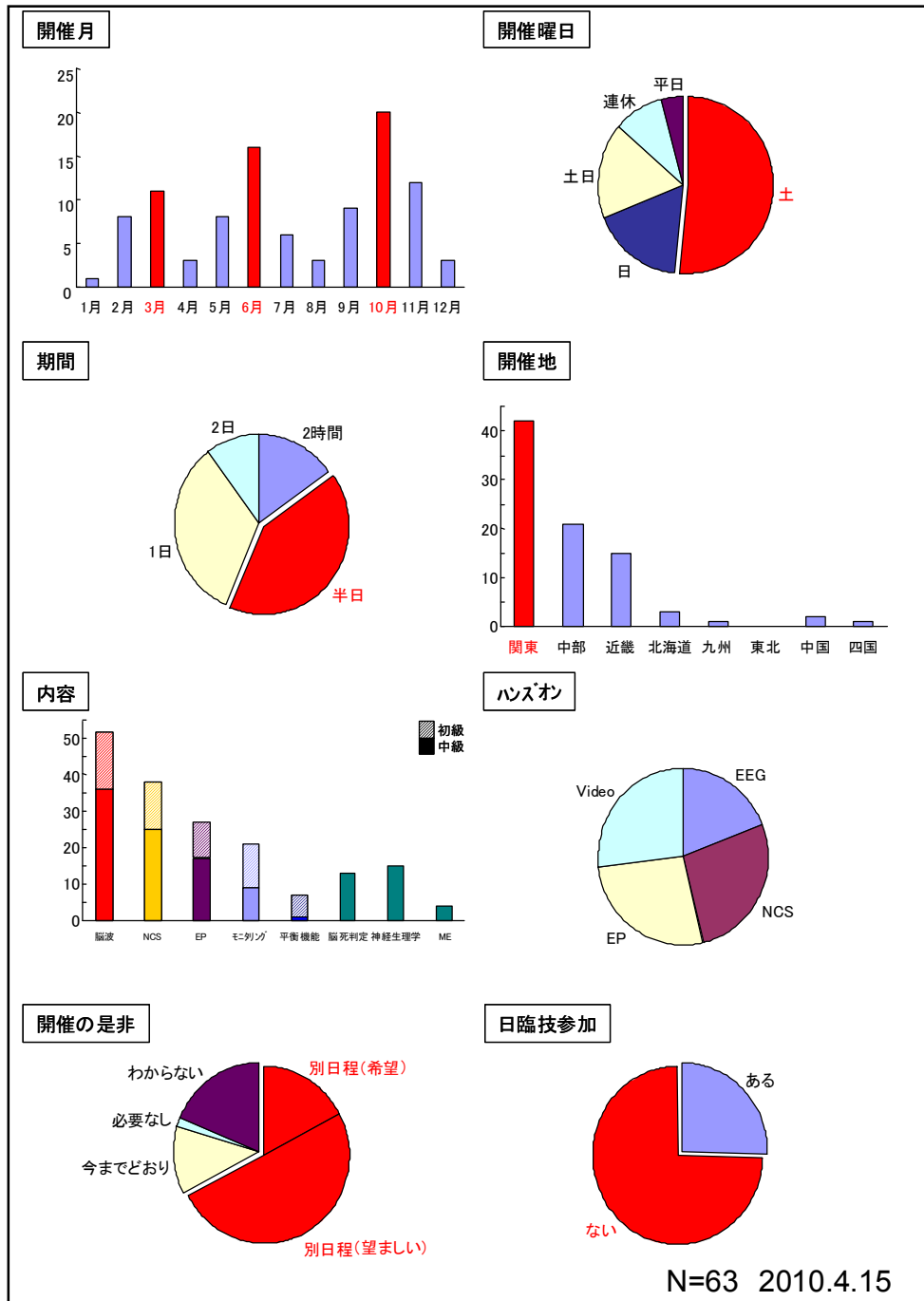
[まとめ]

多数意見を採用した開催例は以下のようになる。

- ・日臨技学会時期とは異なる 10月の土曜日に関東地区で開催する。
- ・昼食をはさんで 4～8時間開催する。
- ・脳波・神経伝導・誘発電位について初級・中級の内容を実施する。
神経生理や ME など基礎項目も隔年～開講する。
- ・ハンズオンは各項目均等に開催する。

平成 22 年度総会時に会員から意見聴取した後、今後の方針を決定する。
アンケート結果について数など詳細を知りたい方は、事務局までご連絡ください

アンケート集計結果グラフ



【Ⅱ.平成 21 年度収支報告】

平成 21 年度収支決算書 (H21.1～H22.3) (会員数 422 名)

単位(円)

収入の部	予算	決算	
1. 会費	100,000	167,750	H20 年度会費(年会費 137 名 x¥250, 入会費 23 名 x¥500), H21 年度会費(年会費 300 名 x¥250, 入会費 94 名 x¥500) 複数県に渡っての 100 名以上での会費徴集は地区幹事の努力にもかかわらず, なかなか足並みが揃わないのが現状です.
2. 事業収入	50,000	37,000	平成 21 年度日本神経生理検査研究会学術講演 1,000 円×34 名、非会員 1500 円×2 名
3. 雑収入	0	113	
4. 繰越金	140,000	136,000	
合計	290,000	340,863	

支出の部	予算	決算	
1. 事業費	175,000	124,580	
H21 年度学術講演会 総会運営費	150,000	109,580	講師料医師¥40000・技師¥10000, 会場費¥5800, たれ幕ポスター類(3)¥8000, 印刷代諸経費¥4000, 実務委員活動費(8)¥22000, 総会事務費¥15000, 飲物¥4780
インターネット事業	15,000	10,000	インターネット事業
表彰	10,000	5,000	表彰
2. 事務費	50,000	42,365	
執行部活動費	30,000	31,000	総会前後に 2 回、8 月に 1 回の執行部直接会議(5～6 名)を開催し飲物・交通費・日当として充当した
執行部通信費	10,000	10,000	
消耗品費	10,000	1,365	コンセント・領収書等文具
3. 臨時		35,000	
過払い返却分*		35,000	北海道、23,500 円、関東 5,750 円、近畿、5750 円
小計	225,000	201,945	
次年度繰越金		138,918	
合計		340,863	

(*注:[会費2年分納入]の解釈の相違により過払いが発生したため、遡って該当支部へ一部返金した)

【Ⅲ.会員表彰】

該当者 なし

2 号議案

【平成 21 年度 監査報告】

[監査報告書]

平成 22 年 5 月 20 日

日本神経生理検査研究会
会長 高橋 修 殿

平成 21 年度の監査を実施しましたので下記の通り報告します。

会計監査 石郷景子

記

1. 会務について。事業計画を円滑かつ確実に遂行されていることを認めます。
2. 会計について。会計収支に不正なく現金および通帳等は正確に整っていることを認めます。

3号議案

平成22年度事業計画および収支予算 (H22.4～H23.3)

【事業計画】

〔学術活動〕

H22年度日本神経生理検査研究会学術講演会

日時:平成22年5月21日(金), 場所:神戸市勤労会館

講演1.「光トポグラフィーの特徴と臨床応用～癖を知りコツをつかもう!～」

講師 丸田雄一技師(山口大学医学部脳神経外科)

講演2.「顔面神経麻痺におけるENoGの測定方法—基礎から応用まで—」

講師 和田晋一技師(大阪医科大学中央検査部)

[各支部事業計画]

1)北海道地区

①第14回宿泊研修会 テーマ(仮):【睡眠障害とPSG】

日程:2010年9月11日(土)～12日(日), 会場:小樽市 おたる自然の村 おこばち山荘

講師:未定

②第46回神経生理検査勉強会 テーマ:「改定臓器移植法」について

日程:2010年11月, 場所:地方開催の予定

意思表示のない患者さんから家族の同意を経ての法的脳死判定からの臓器提供、また子供の脳死判移植医療(心停止後)についても視野に入れた講習会を企画しております。

臨床検査技師も検査だけではなく、移植医療を考える勉強会にしたいと思っております。

2)東北地区 未定

3)関東甲信地区

第14回 日本神経生理検査研究会 関東甲信地区勉強会

日時:平成22年10月予定

テーマ「保険点数改定における神経生理検査の再確認」

会場:国立国際医療センター

講義1:神経伝導検査, 講義2:脳波検査,

講義3:術中モニタリング検査 講師:未定

4)中部地区

①第15回日本神経生理検査研究会(中部地区)

テーマ「保険点数改正の検査を再認識しよう」

開催日時 平成22年9月4日(土), 場所 名古屋市立大学 研究棟11階講義室

1)「病室での脳波検査のアーチファクト対策」:山本 貴子 技師(岐阜社会保険病院 検査部)

2)「神経伝導検査の臨床応用」:～糖尿病性神経障害と手根管症候群、upper uncommon NCS～
山内 孝治 技師(大隈病院 臨床検査科)

3)「明日からできる術中MEPモニタリング入門」～治療の現場に踏み込もう!～

瀬川 義朗 技師(天理よろづ相談所病院医学研究所)

②第16回日本神経生理検査研究会(中部地区) 期日:2011.3, 内容:未定, 場所:未定

5)近畿地区

①第1回 近畿支部神経生理検査研究会勉強会 期日:平成22年10月ごろ

講義1 [脳波の起源から臨床へ] 橋本修治医師(元天理よろづ相談所白川分院院長)

講義2 「神経伝導検査の基礎と臨床(仮称)」

幸原伸夫医師(神戸市立医療センター中央市民病院 神経内科)

6)中国四国地区

未定

7)九州地区

①第22回臨床神経生理研究会

平成22年8月22日(土)～8月23日(日) 長崎

ハンズオンセミナー 講師として参加予定

〔渉外活動〕

1. 日本臨床神経生理学会認定制度に対する関連団体としての確立.
2. 神経生理検査の出版に関するアプローチ.
3. 各関連学会や団体との連係.

【平成 22 年度収支予算案】

平成 22 年度収支予算書

(H22.4.1~H23.3.31) (単位 円)

収入の部	前年度決算	予算	
1. 会費	166,750	244,000	H22.4.28 現在基準 442 名 x¥500, 入会費 46 名 x¥500
2. 事業収入	37,000	40,000	平成 22 年度日本神経生理検査研究会学術講演 会員 1,000 円×34 名、非会員 1500 円×4 名
3. 雑収入	113	100	利子
4. 繰越金	136,000	138,918	
合計	340,863	423,018	

支出の部			
1. 事業費	124,580	245,500	
H22 年度学術講演会 総会運営費	109,580	108,000	講師料技師¥30,000 (15,000×2), 会場費¥20,000 たれ幕ボスター類(3)¥8,000, 印刷代諸経費¥5,000, 実 務委員活動費¥20,000, 飲物・消耗品¥5,000, 総会事務 費 20,000
インターネット事業	10,000	17,000	PDF ソフト購入 (Acrobat9pro 教員版)
表彰	5,000	10,000	
支部活動補助金	0	110,500	前年度までは年会費の半額を徴収。今年度より全額徴収し, その後年会費の半額を還付するとして (442 名分)
2. 事務費	42,365	83,000	
会議費	31,000	45,000	執行部活動費として
通信費	10,000	15,000	執行部通信費として
予備費	0	20,000	今期予算として計上した
消耗品費	1,365	3,000	
小計	166,945	328,500	支部活動補助金を計上したため前年より高額となった
次年度繰越金		94,518	
合計		423,018	

4 号議案

【一般議題】

1) 全国講習会の開催企画

当会では、毎年、日臨技学術大会に合わせて、[学術講演会]と[総会]を行ってきました、これは全国の会員が最も参加しやすいと思えた期間を選んだのが理由です。しかし、日臨技学術大会の開催が都市圏のみに変更となり、また学会前の時間帯の中でこれら 2 企画を実施するには短時間となり会員サービス低下と苦慮していました。今回、[全国講習会]の開催内容をアンケート調査(事業報告参照)を実施した結果を踏まえて、漠然としていますが、下記のような内容での開催を執行部提案し、評議員会・総会にて検討をお願いしたい。

開催時期: 9~10 月の土曜日あるいは日曜日, 時間: 昼食をはさんで 4~8 時間
開催場所: 関東地区あるいは中部地区あるいは地方
内容: ①脳波・神経伝導・誘発電位について(初級・中級), ②ハンズオン, ③神経生理や ME など基礎項目

2) その他

5号議案 平成22年度年役員信任案
日本神経生理検査研究会役員案

1. 執行部役員

会長	高橋 修	(市川市リハビリテーション病院)
副会長	片山 雅史	(熊本機能病院神経生理センター)
副会長	水野 久美子	(名古屋市立大学)
事務局長	瀬川義朗	(天理よろづ相談所医学研究所)
会計	河島 江美	(北里大学病院)

2. 地区代表者

北海道地区	遊佐 純教	(釧路労災病院)
東北地区	門馬 留美子	(広南病院)
関東甲信越地区	高橋 修	(市川市リハビリテーション病院)
中部地区	石郷 景子	(大垣市民病院)
近畿地区	佐々木 一朗	(神戸市立医療センター中央市民病院)
中国・四国地区	○丸田 雄一	(山口大学脳神経外科)
九州沖縄地区	酒田 あゆみ	(九州大学病院) (補佐 片山雅史)

3. 評議員会(順不同・敬称略) 13名

高橋 修	(市川市リハビリテーション病院)
片山 雅史	(熊本機能病院神経生理センター)
水野 久美子	(名古屋市立大学)
瀬川義朗	(天理よろづ相談所研究所)
河島 江美	(北里大学病院)
遊佐 純教	(釧路労災病院)
門馬 留美子	(広南病院)
石郷 景子	(大垣市民病院)
佐々木 一朗	(神戸市立医療センター中央市民病院)
酒田 あゆみ	(九州大学病院)
○丸田 雄一	(山口大学脳神経外科)
菅野 彰剛	(東北大学加齢研)
齋藤 江美子	(丘整形外科病院)

[註1]: 名前の先頭[○]は、平成22年度より新役員です。中国四国地区の代表者不在の状態が続いていましたが、このたび、片山副会長から丸田氏の推薦があり、本人受諾され、今年度総会に地区代表および評議員として提案いたしました。丸田氏は神経生理部門の経歴および経験も十分であり、また人格も素晴らしく地区代表として相応しいと考えます。

[註2]: 上記役員は、新人で1期目、2期目、3期目を含み在任期間が同一ではありません

4. 会計監査

石郷 景子	(大垣市民病院)
-------	----------

5. インターネット運営委員(順不同・敬称略)

瀬川 義朗	(天理よろづ相談所研究所)
古島 健次	(熊本機能病院神経生理センター)

6. 表彰推薦委員 (順不同・敬称略)

片山 雅史	(熊本機能病院神経生理センター)
岡田 豊治	(北斗病院)
水野 久美子	(名古屋市立大学)
菅野 彰剛	(東北大学加齢研)
長田美智子	(山梨大学病院)
高嶋 浩一	(自治医科大学さいたま医療センター)

7. 事務局補佐(全国講習会準備担当)

宇城 研悟	(松阪市民病院)
植松 明和	(国立病院機構国際医療センター戸山病院)

=====

委任状 (FAX用)

私は議長を代理人と定め、平成 22 年 5 月 21 日に開催されます、平成 22 年度日本神経生理検査研究会総会にて、議案書に掲載された、全議案の決議権を行使する権限を委任します。

なお、総会は欠席しますが、以下の重要案件について予め選択いたします。

■本研究会の講習会を日本医学検査学会とは別日程にて開催することについて

[賛同する 賛同しない 保留する]

にて

所属地区：(北海道, 東北, 関東甲信越, 中部, 近畿, 中国四国, 九州)

施設名： _____

氏名： _____

近況など：

FAX送付先：

(0743-62-0525) 天理よろづ相談所医学研究所 瀬川義朗 宛

メール送付先：klsegawa@tenriyorozu-hp.or.jp

(注：メールで送信される場合は、当会ホームページ <http://jsgn.umin.jp/>より PDF 版をダウンロードして添付してください)

=====

2010.5.2